



令和6年2月1日発行
田原児童園

令和6年能登半島地震で、被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。地震から1ヶ月、今も寒い中、避難生活をされている方々の事を思うと、一日も早く穏やかな生活に戻れることを願うばかりです。先月12日、御正忌報恩講が行われ、年長児・年中児の子どもたちと、年長児の保護者の方々と一緒に、宗祖親鸞聖人の御命日をお参り致しました。当日子ども達が仏讃歌を美しい声で歌い、年長児さんが宮沢賢治さんの『雨にも負けず』の詩を力強く暗唱する姿に、大変感動致しました。世界では、戦争や紛争で多くの方々が犠牲になり、日本だけでなく、世界各国で、災害が起こり、いつ私たちにも襲い掛かるか分からない自然や人間の驚異を思い知らされるのが頻りに起こるようになってきました。この詩は、困難に負けない心の強さ、他人を思いやる優しさ、自然と共に生きるという精神的な強さを作者が伝えています。忙しさゆえ人、物、自然に対して尊敬と感謝の心を忘れがちになっている現代社会に、より良い社会を作りあげるヒントを教えてくれているように思います。是非ご家庭でも『雨にも負けず』の詩を読み直し、作者の心を感じてみていただければ幸いです。

さて、暦の上ではもう立春。まだまだ朝夕は冷え込みますが、寒い季節は体を動かすことがいちばん！先月は雪が降る日もあり、園庭で子どもたちが雪ダルマや雪ウサギを作り、珍しい雪を楽しむことが出来ました。また、お正月遊びを多く取り入れ、各クラスでカルタ遊びをしたり、凧やこまの制作をして、日本の伝承遊びも楽しみました。今月も、子ども達が様々な事象に興味や関心を持てるような遊びを取り入れ、自然環境と触れ合う機会も多く持ちたいと思います。今月は、生活発表会（以上児）が行なわれます。練習を通して、子ども達の意識も徐々に高まってきているようです。皆さまに、一年間の子ども達の成長を感じていただけるよう、子ども達も保育士と心を一にして頑張っておりますので、ご家庭でも、お子さんの体調管理に気を付けていただき、子どもたちが揃って元気に本番を迎えられるよう、ご協力をお願い申し上げます。



☆2月の保育目標☆

- ふじ組:色々な事に挑戦しながらやり遂げる事の大切さを知る。
- きく組:お友達と協力して活動する事を楽しむ。
- もも組:皆で協力する事の楽しさを知る。
- 乳児組:戸外で元気に遊ぶ。



2月の行事予定

- 1日 身体測定
- 2日 節分・避難訓練
- 6日 移動図書
- 13日 体操教室
- 15日 涅槃会
- 16日 報恩講
- 17日 生活発表会
- 22日 クッキング教室
(年長児)
- 27日 体育教室
- 28日 修了記念写真
(10時～)
- 29日 誕生会

3月の行事予定

- 1日 乳児保育参観
 - 5日 身体測定
 - 8日 稚児出仕法要
 - 9日 春季彼岸会法要
 - 12日 体操教室
 - 14日 誕生会
 - 16日 報恩講
 - 22日 修了式
 - 23日 卒園式
 - 26日 体育教室
 - 29日 避難訓練
- ※卒園式は、全職員で参加させていただきますので、他クラスの保育は行うことができません。

保育参観 ミニミニ発表会

3月1日(金)に乳児クラスの保育参観を行います。下記日程で行いますので、保護者の皆様も是非ご参加下さい。

- すみれ組 午前10時～
- れんげ組 午前10時～
- はす組 午後15時～

内容：お子さんのステージ発表を見ていただいたり、親子で日頃の保育園生活を体験して頂き、お子さんの食事の様子も見ていただきたいと思います。

マルトリートメント 御存じですか？

以下 福井大学 子どものこころの発達研究センター 発達支援研究部門 教授 友田 明美 著書抜粋
マルトリートメント(省略しマルトリ)とは『避けるべき子育て』を指します。1980年代からアメリカなどで広まった表現で、日本語で「不適切な養育」と訳され、子どもの健全な養育を妨げるとされています。最近では、スマートフォンやタブレットを子どもにあてがったり、授乳中にもSNSや動画を見たりする親もいます。スマホやタブレットが悪いのではありませんが、親と子の貴重なコミュニケーションの時間がなくなってしまうのは良くありません。WHOのチャイルド・マルトリートメントの定義は、身体、精神、性虐待そしてネグレクトを含む児童虐待をより広く捉えた、虐待とは言い切れない大人から子どもへの発達を阻害する行為全般を含めた不適切な養育を意味します。つまり、「子どものこころと身体の健全な成長・発達を阻む養育をすべて含んだ呼称」であり、大人の側に加害の意図があるか否かにかかわらず、また、子どもに目立った傷や精神疾患が見られなくても、行為そのものが不適切であれば、それは『マルトリ』と言えます。「マルトリ」が頻度や強度を増したとき、子どもの脳は部位によって萎縮したり、肥大したりするなど、“物理的”に損傷します。その結果、学習意欲の低下や非行、こころの病に結びつく危険性があるのです。もちろん、軽微な「マルトリ」では、そのようなことは起きませんが、一度傷を負った脳を、もとに戻すことは容易ではないのも事実です。とりわけ、注意しなければならないのは、養育者である親と子どもの力関係は対等ではないということです。『強者』である大人が、『弱者』である子どもを怒鳴りつけ、体罰を与えるという行為は、わたしたち大人が想像するより強い衝撃を与えます。しつけとは、子どもに恐怖を与えることではなく、正しく導くことが目的でなければなりません。

マルトリートメントとなっている最近の無意識な子育て状況

- 1) 子どもが泣いていても無視し続け、スキンシップをとらない
- 2) 子どもが泣いているのは気づいていても、ゲームがやめられない
- 3) 子どもと一緒にいても、メールやラインの返信に夢中
- 4) 子どもに話しかけられても応えない
- 5) 子どもが泣いたりぐずったりすると、モバイル機器にあやしてもらおう
- 6) 子どもと外食しても、ずっと動画を見せておく

現代では、愛着障がいと診断されないまでも、マルトリが原因で愛着の形成に問題が生じ、対人関係や社会生活に大きな影響を与えるケースが増えています。子ども達の短い乳幼児期を、愛情いっぱい育てましょう。

※興隆寺よりお米を寄付して頂きました。行事食(ちらし寿司)やおやつなどで提供させていただきます。



1月の行事より

